

## 課題シート「区立施設の再編・整備」

【所管】政策経営部企画課、営繕課

## 課題の背景・課題とした理由

- 1 少子・高齢化を見据え、高齢者が暮らしやすく、子どもを産み育てやすいまちづくりを進める必要がある。
- 2 時代の変化に対応した、より質の高い住宅都市を継承し、住みたい・住み続けたいと思われる魅力あるまちづくりを進める必要がある。
- 3 平成 20 年度末で、建物約 81 万㎡の 582 施設を保有している。
- 4 今後、一般施設では平成 27 年ごろ、小中学校では平成 22 年ごろから築 50 年を迎える施設が増加。今後 20 年間では、一般施設で約 10 万㎡、小中学校で約 31 万㎡が築 50 年を迎える。
- 5 今後、30 年間の改築・改修経費として、推計で約 2,766 億 2,000 万円の経費が必要。改築は、施設内容の充実と規模の拡大から、経費はさらに増加する。
  - ・小中学校の改築経費は、10 年間に毎年平均で約 15 億円、平成 31 年からは毎年約 60～75 億円が必要となる。
  - ・全施設の改修経費は、30 年間に毎年平均で 30～40 億円が必要となる。
- 6 施設整備にあたっては、統廃合や再配置を含め適切な選択・優先順位付けが求められている。また、現状の施設は、計画的に維持保全を行い、長く活用していく必要がある。

## 現時点での区のお考え・方向性

- 1 これまでの地域・地区における施設配置のお考えを踏まえつつ、時代の変化に応じた施設の再編・整備のお考え方について検討する。
- 2 別に検討をしている学校の統廃合のほか、公園、道路、橋梁は対象外とする。（老朽化した学校の更新、跡地活用は含む）
- 3 施設の更新にあたっては、以下の点についてゼロベースで検討する。
  - その施設は将来に向けて引き続き必要か。また、今あるすべての機能が必要か。
  - 施設で提供しているサービスは、施設がなければ提供できないものか。

国や都との連携も含めて、他の施設との合築による効率化やサービス向上の可能性はないか。

以外の方法による区民の利便性やサービスの向上、地域の活性化を図る余地はないか。

民間活力の導入等により、維持管理経費の削減を図る余地はないか。

防災機能とバリアフリーによる安全・安心、省エネと緑化による環境に配慮した施設づくりを一層推進する余地はないか。

- 4 上記3の検討にあたっては、以下の各項目を踏まえて判断する。
  - 区の将来人口予測
  - 維持管理コストと施設の設置効果
  - 近隣施設の状況（都や国の施設も含む）
  - 利用状況（利用者数、利用率、特定者の利用になっていないか）
  - 施設利用者の意向
  - 施設利用者以外の区民の意向
- 5 計画的な再編・整備の推進により、財政負担の軽減・平準化を図る。
- 6 施設廃止・移転後の跡地については、売却も視野に入れて有効活用の検討を行う。
- 7 計画の策定から実行まで、区民の理解を得ながら進めていく。
- 8 老朽化・耐震性等による更新の緊急性が高い施設については、全体計画の策定と並行して、上記の考え方を踏まえ、個別に再編・整備の検討を進める。

#### 添付資料

\*印の資料は次回配布いたします。

資料8 - 1	施設白書2010
資料8 - 2	杉並区行政施設要図
資料8 - 3	他の50万人規模の自治体との施設数等の比較 * (主な施設について)
資料8 - 4	施設種別ごとの施設配置図 *
資料8 - 5	施設別データ一覧 * (竣工年月、耐震化、配置基準、運営形態、利用状況、維持管理コスト等)

#### その他特記事項

当該施設の利用者にとどまらず、幅広い区民の意向を把握するため、無作為抽出による区民意見交換会や区民アンケート等を実施する。